



- 1.キッチンカウンターのスギの腰壁は地元の仲間と作成。間取りも徹底的に話し合い、このスタイルに落ち着いた
- 2.吹き抜けを支えるのは4寸角の通し柱。Sさん宅ではスウェーデン製の木製トリプルサッシを採用している
- 3.ナラの無垢フローリングに電球色で統一された照明が印象的。ダイニングテーブルはなんとSさんの作品

住み手の感性が 住まいの隅々に生かされた 高品質な住空間

仙北市・Sさん宅
家族構成／夫婦30代
設計・施工／（有）仲野谷工務所

オーナーのSさんは木工家。素材選びはもちろんデザインや仕上げなど、家づくりに対しても木のプロとしてのイメージやこだわりがありました。「当社は、お客様のイメージを具現化したうえで、住宅性能をきちんと出すことに力を注ぎました」と、仲野谷工務所の仲野谷勝洋社長は話します。

黒一色で統一された、片流れ屋根のスタイリッシュな外観。室内は一転してオフホワイトとナチュラルな木の質感を生かした、開放的な吹き抜けのLDKが広がります。この吹き抜けを見下ろす2階には、主寝室のほか2つの洋室を配置。シンプルな間取りですが、洗面室の青いドアや食品棚のすりガラス引き戸など、空間の至る所にSさんのモノ選びの感性がぎらり。さまざまな造作家具や棚も、Sさんと仲野谷工務所そして建具職人との合作だそうで「地域に根ざした自社施工だからできること」と、仲野谷社長は胸を張ります。

これほどの吹き抜けでも、U_A値は秋田県の新省エネ基準（0.56W／㎡K）の半分である0.28W／㎡K。高い断熱性能とトリプルサッシの採用、さらにヒートポンプパネルヒーターによる全館暖房の効果で、豪雪地・角館の冬でも平均22℃をキープ。「ガスや灯油を併用する従来型に比べ、電気だけのヒートポンプ冷暖房は光熱費も暮らしやすさもはるかにいい」と仲野谷社長。一方で夏は窓を開け放ち、風を通すこともできると言います。

アーティストの感性を生かしつつ長期優良住宅認定をも受けた、高品質な住まいです。

家づくりのポイント

秋田内陸の角館地域は冬が長く、積雪も多い地域。この気象条件に対応する住宅の強度や暖かさは、当地での家づくりでは決してはずせないものです。仲野谷工務所では外壁と内張りの合計で100mmのウレタン断熱を標準とし、通し柱はもちろん、全ての柱に4寸角（120mm）を採用。旧基準であればQ値1.0、改正省エネ基準であればU_A値0.3レベルを基準に、超高断熱・高気密で丈夫な住まいを提供しています。とはいえ締め切った住空間ではなく、トリプルサッシには網戸を標準装備。気候のいい時など必要に応じて窓を開けて風を通せるようにしています。

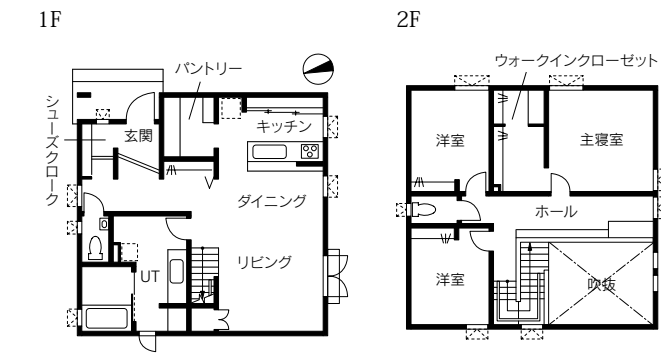
同社の強みは自社施工・設計、さらに社員大工による現場での打ち合わせも可能なこと。手がけてきた超高気密・高断熱の技術をベースに、住まい手の希望を反映したマイホームを提案しています。

設計・施工／（有）仲野谷工務所

TEL 0187-54-3198 仙北市角館町北野31-1
http://www.nakakou.net E-mail:bcl00755@nifty.com



- 1.母屋の横にあるアトリエ兼車庫は、位置やコントラストを考慮して白で統一。青いドアが効いている
- 2.玄関ホールにはシューズクローゼットを仕切る壁を設置。ステンドグラスのはめ込み窓やアールなどデザインエッセンスが光る
- 3.玄関ホールからダイニングを見る。壁には作品展示にも使えるニッチをつくるなど、さまざまな工夫が施されている
- 4.キッチンカウンターの天板はSさんが用意したクリ材。すりガラスが入った食品庫の引き戸も建具職人の手づくり



■設計・施工

設計・施工／(有)仲野谷工務所

■建築データ

構造規模/木造(プレカット在来工法)・2階建て
 延床面積/128.91㎡(約39坪)
 <主な外部仕上げ> 屋根・外壁/ガルバリウム鋼板、建具/玄関ドア:木製断熱ドア、窓:木製サッシ(トリプルガラス)一部樹脂サッシ
 <主な内部仕上げ> 床/ナラ無垢フローリング、壁・天井/エコクロス
 <断熱仕様 外張断熱+付加断熱> 基礎/押出法ポリスチレンフォーム保温板A種3種b65mm、壁・屋根/アキレスキューワンボード50mm+吹付硬質ウレタンフォーム50mm
 <暖房方式> ヒートポンプ式温水パネルヒーター

■工事期間

平成27年6月～9月(約4ヵ月)

- 5.2階の階段ホールには造作で小さな書棚とテーブルを設置し、天井には収納式の物干しポールも。フレキシブルに空間を使う
- 6.2階洋室。各室に設置したエアコンは3シーズン用で、厳冬期にはパネルヒーターだけで十分な温かさをキープ
- 7.パネルヒーターは2階には各部屋に、1階LDKには壁側と埋め込み式の合計2台で全館暖房が可能に
- 8.洗面台のタイルは職人が1枚1枚手で張った。正面鏡の枠はオーナーのSさんが木工の技で作成したものの
- 9.黒い色の壁にリズムカルに配された窓がアクセント。大きな片流れ屋根は落雪の方向も考え抜かれたもの



壁や天井には一定の吸保湿効果がある珪藻土クロスを張っている。塗り壁に比べリーズナブルなのも魅力